

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第4号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造

立教大学の皆さんとのオンラインによる合同学習会

四月二十六日(火)の二・四校時、二学年普通科の文系Bコース(大学・短大への進学を希望するコース)の生徒は、T×Action PROJECTの一環として高大連携地域探究の授業を行いました。これは、立教大学の先生や学生さん方との合同学習会で、オンラインで東京都の立教大学と本校とを繋げて行われました。



オンラインでの合同学習会



調理した鯖を缶に納めています

海洋システム科での鯖の缶詰製造実習

四月二十六日(火)、海洋システム科二年生の生徒が、総合実習の時間に鯖の缶詰の製造を行いました。

今回が今年度最初の合同学習会で、探究の意義と目的、探究方法と調査の仕方について学ぶとともに、立教大学の学生さんと交流しながらグループ作りを行いました。地域探究の授業では、これから半年間、テーマごとにグループに分かれて陸前高田市の地域課題を解決する方策を考えていきます。その成果を九月に発表する予定です。



鯖を納めた缶を加熱殺菌した後、缶詰の水滴を拭きながら凹みがないか等をチェックしています

情報モラル講座

四月二十七日(水)七校時、大船渡警察署生活安全課の佐藤寛高警部補様を講師にお招きして、全学年を対象に「情報モラル講座」が開催されました。講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、一学年生徒が入場した主会場の氷上

海洋システム科では、一年間に約七千個の缶詰を製造しています。なお、製造した鯖の缶詰は、東日本大震災津波伝承館いわてT×Actionメモリアル館内にある道の駅高田松原など陸前高田市市内でも販売されています。

高校生と地元で働く若手社員等との交流会

五月十日(火)五・六校時、一学年生徒を対象に、この地域で働く多くの若手社員の皆さまをお招きして、「高校生と地元で働く若手社員等との交流会」が、T×Actionの一環として、開催されました。この交流会は、今年度で四年目の開催で、生徒が様々な職業観に触れることで視野を広げることや、



情報モラル講座の様子

ホールでの様子を、二・三学年の生徒がいる各教室にMicrosoft Teamsで中継して行われました。生徒達は、この講座によりスマートフォン等の情報端末を用いたSNSの安全、安心な利用方法と正しいマナーやモラルを学びました。

岩手で働く魅力、可能性を感じる機会にすることを目的に開催されたもので、生徒達は、進路選択のヒントを得ようと、真剣に参加しました。



交流会講師の皆様

参加していただいた事業所

- ・株式会社八木澤商店 様
- ・合同会社ぶらり気仙 様
- ・吉田歯科 様
- ・FIREWORKS株式会社 様
- ・特定非営利活動法人高田暮舎 様
- ・岩手県沿岸広域振興局大船渡地域振興センター 様
- ・ゆわて吉田工業 様
- ・(株)長谷川建設 様
- ・株式会社高田自動車学校 様
- ・社会福祉法人鳴瀬会 様



交流会の様子